

大沼航空局次長 来賓挨拶

ただいまご紹介をいただきました、国土交通省航空局次長の大沼です。
本日は ATRS 世界大会の機会を捉えた、聴衆として大変魅力的な記念のセミナーにお招きいただきまして、誠にありがとうございます。

こちらの研究所のセミナーは、興味があるものについてはオンラインで拝聴し、大変参考にさせていただいておりますが、会場に足を運ばせていただいたのは初めてでございます。大変ありがとうございます。本日基調講演をされるオウム会長のご高名は、私がこの世界の行政に携わることになった 20 年以上前から存じ上げているところで、今日は先生の講演に先立って、日本の航空当局を代表してご挨拶の機会をいただきましたこと、大変光栄に思います。

今日のテーマとの関連で申し上げますと、かつて航空業界に打撃を与えてきた同時多発テロや SARS といった感染症の流行のときと異なり、今回の COVID-19 は、その前と後で航空市場そのものの質を変えてしまっている、これに加えて、かつては省みられることのなかった脱炭素の問題が大きな課題として重くのしかかっている、これが今の世界の航空業界を取り巻く環境であろうかと思っております。こういう環境の中で、航空各社の行動や各国航空当局の政策選択について、どういった視点で着目していけばいいのか、そこから何を考えるべきなのか。オウム先生はもとより、ドレスナー先生、ジャン先生、それから日頃から大変お世話になっている大橋先生、花岡先生、山内先生、文字どおり英語でいうところの“distinguished”や“prominent”、当件にふさわしい各先生方の議論を聞かせていただけることを、おそらくここにいらっしゃる皆様、それからオンラインでご覧になられている皆様も、大変楽しみにされていることと思います。私もその 1 人でございます。

もちろん、私の場合はただ聞いて楽しんで帰るというわけにもまいりません。今後の私どもの喫緊の政策課題の対応、具体的には、航空サービスの供給に決定的な影響を及ぼす人材確保の問題、あるいは長期的な課題としての脱炭素・カーボンニュートラルの問題、こういったものの解決に向けて、関係者一丸となった様々な取組みを進めているところですので、これをさらに進めていくにあたり十分参考にさせていただきたいと思っております。

本セミナーの盛況を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。

以上